
新日鐵住金株式会社に 154kV 受変電設備一式を納入
— 最新の診断保全技術、操作・監視システム導入で信頼性・保守性向上に貢献 —

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:山脇 雅彦)は、新日鐵住金株式会社(以下、NSSMC)より、製鉄所内受変電設備の電力系統信頼性向上対策工事を受注し、154kV GIS(ガス絶縁開閉装置)や154/22kV 特高変圧器を含む受変電設備、設備の信頼性・保守性を向上させるTMEICの最新の設備診断保全技術と操作・監視システムを納入しました。

本工事は、製鉄所構内に電源供給している154kVと22kV系統の特高受変電設備を一括で更新する日本国内の製造業用受変電設備工事としては最大規模です。TMEICは、受電変電所に設置される154kV GIS 22ユニット、154kV/22kV 特高変圧器4台、22kV GIS 30ユニットを含む電気品と製鉄所内の電力系統を監視・操作するシステムを納入しました。

TMEICは、本工事を契約から約2年間という短工期の中、無事故・無災害で完遂し、2018年11月に新系統への154kV受電を完了しました。今後、154kV系統、22kV系統の新旧回線切替工事が順次実施される予定です。

TMEICは、本工事において、母線(電力供給に用いる幹線)の二系統化により、変電設備の信頼性向上を図ったほか、主要機器である154kV GISや154/22kV 特高変圧器にオンラインで傾向監視ができる最新の診断保全技術を適用し、受変電機器の保守性向上も実現しました。

さらに、電力系統監視・操作システムには、TMEICが長年にわたり蓄積したプラントノウハウと最先端のWeb技術を融合した最新のHMI(Human Machine Interface)システムである「TMASCA™」(ティーエムアスカ)を初適用し、システムの安定性と操作性の向上を図っています。

(参照: https://www.tmeic.co.jp/news_event/pressrelease/2019/20190304.pdf (2019年3月4日付「プラント監視・操作用HMIシステム『TMASCA™』を新開発」))

TMEICは、日本国内や東南アジアを中心とする海外製造業向けに多くの特高受変電装置の納入実績があります。実績に基づく豊富なノウハウを活かし、今後も製造業プラントの安定操業・能力向上に貢献していきます。

報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <http://www.tmeic.co.jp/>
〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレーターとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。